



市議会だより



平成二十一年第二回三豊市議会臨時会

正副議長を選任

平成20年第2回三豊市議会臨時会が、2月28日に開催されました。今臨時会においては、議長、副議長をはじめ、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会委員などが選任され、新しい議会構成が決まりました。

また、議案は人事案件1件のみで、教育委員会委員の任命に同意しました。



第2回臨時会

当日は、議長・副議長の辞職により正副議長選挙が行われ、その結果、議長には宝城明氏、副議長には為広員史氏が選出されました。

また、常任委員会委員、議会運営委員会委員及び特別委員会委員などが新たに選任され、議会構成も変わりました。

議案審議については、教育委員会委員の任命について同意しました。

〔教育委員会委員〕

・建林 伊都子氏（三野町大見）

平成20年第2回三豊市議会臨時会 審議結果

議決年月日 平成20年2月28日

議案番号	案 件	議決の結果
議案第2号	三豊市教育委員会委員の任命について	原案同意（全会一致）

議 会 日 誌

3月										2月												
19日	17日	15日	14日	12日	11日	10日	7日	5日	4日	3日	28日	27日	26日	25日	22日	21日						
教育民生常任委員会	教育民生常任委員会	建設経済常任委員会	中部広域競艇事業組合議会	議会広報委員会	定例会（一般質問）	定例会（一般質問）	まちづくり調査特別委員会	議会運営委員会	定例会	三観広域行政組合議会	臨時会	議会運営委員会	後期高齢者医療広域連合議会	議会広報委員会	議会運営委員会	三観広域行政組合議会	三観広域行政組合議会	防災対策調査特別委員会	教育民生常任委員会	建設経済常任委員会	教育民生常任委員会	三豊市・観音寺市学校組合議会

三豊市議会だよりの発行・編集は

三豊市議会・議会広報委員会

〒767-8585 三豊市高瀬町下勝間2373番地 73-3009

そのためには、私たちは、輝かしい21世紀が市民の皆さまにとってより良い世紀となるよう、最善の努力をいたす所存でございます。この三豊市から「元気・活力」が沸き上がり、変革と創造が生まれるよう、さわやかな暮らしの風を起し、魅力都市「三豊」を目指して参ります。皆さま方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

このたび、三豊市議会議長並びに副議長に就任し、その重責を担い、身の引き締まる思いをいたしております。三豊市は、今こそ、市民の皆さまに最も身近な責任ある自治体として、地域の特性や実績を踏まえつつ、一体的な行財政運営を行い、市民福祉の向上を図っていかねばなりません。



副議長
為 広 員 史



議 長
宝 城 明

三豊市議会常任委員会名簿

	常 任 委 員 会			議会運営委員会 (8名)
	総務常任委員会 (10名)	建設経済常任委員会 (10名)	教育民生常任委員会 (10名)	
委員長	大平 敏弘	横山 強	肥吾 豊志	坂口 晃一
副委員長	詫間 政司	藤田 公正	金子 辰男	城中 利文
委員	多田 治	坂口 晃一	眞鍋 時敏	横山 強
"	大西 敏典	宝城 明	瀧本 文子	肥吾 豊志
"	金丸 勉	川北 善伴	近藤 久志	瀧本 文子
"	為広 員史	香川 努	鴨田 偕	香川 努
"	三宅 静雄	城中 利文	三木 秀樹	大平 敏弘
"	岩田 秀樹	近藤 賢司	眞鍋 昌年	近藤 賢司
"	小林 照武	山本 明	十鳥 彰	
"	大平 俊和	藤田 芳広	川崎 秀男	

三豊市議会特別委員会名簿

	特 別 委 員 会			議会広報委員会 (7名)
	行財政改革調査特別委員会 (10名)	防災対策調査特別委員会 (10名)	まちづくり調査特別委員会 (10名)	
委員長	鴨田 偕	大平 俊和	小林 照武	山本 明
副委員長	藤田 芳広	十鳥 彰	川崎 秀男	岩田 秀樹
委員	多田 治	眞鍋 時敏	大西 敏典	三宅 静雄
"	坂口 晃一	宝城 明	金丸 勉	肥吾 豊志
"	岩田 秀樹	横山 強	為広 員史	大平 敏弘
"	川北 善伴	瀧本 文子	三宅 静雄	詫間 政司
"	城中 利文	近藤 久志	肥吾 豊志	川崎 秀男
"	近藤 賢司	三木 秀樹	香川 努	
"	金子 辰男	眞鍋 昌年	大平 敏弘	
"	詫間 政司	山本 明	藤田 公正	

議会広報委員会研修

1月28日～29日

山口県周南市・広島県大竹市

議会中継・議会広報紙編集

周南市は、平成15年4月に徳山市・新南陽市・能毛町・鹿野町が合併して誕生した、面積656平方キロメートル、人口15万4千人の西日本有数の工業集積地である。

議会中継に関しては、本会議の様子をケーブルテレビで実況放送しており、合併に伴う合併特例債を財源とし、平成15年より光ケーブルを整備し、全市内整備を完了しているようである。

本会議をライブ中継し、一般質問に関しては翌日に再放送、一週間後に再々放送も行っている。常任委員会については録画放映を行っており、30分ずつの2時間番組に編集して、2回放送している。

本会議のみならず、各委員会の一般傍聴も許可し、ホームページに会議録を全文掲載するなど、開かれた議会を心がけている。



山口県周南市



広島県大竹市

大竹市は、広島県の西端に位置し、面積78・55平方キロメートル、人口3万人のパルプ・化学繊維・石油化学等の大企業を誘致し、瀬戸内地域で有数の臨海工業地区として発展している市である。

議会広報紙は、年4回、定例月の翌月に14ページ程度の「市議会だより」を、単独紙として発行している。

また、音訳ボランティアと点字ボランティアの協力により、市議会だよりの内容を録音した「声の市議会だより（テープ）」を貸し出したり、「点字の市議会だより」を必要に応じて提供し、多様なニーズに対応している。

教育民生常任委員会

2月21日・22日に委員会を開催し、21日には19年度中に改修及び改築のあった2施設の現地調査を実施した。

高瀬南部保育所は、防火上必要な改修を行っており、2月末までの工期であった。間仕切り壁の設置や天井材の貼り替え、排煙窓取り付け等、ほぼ完了した状態を調査した。委員から、工事に併せて古い鉄製サツシの取替え等の指摘があり、執行部より「対処したい」との回答があった。

下高瀬小学校は新校舎が完成し、備品の搬入が始まりつつあった。玄関外部の塗装について、下地の出来具合を確認する声があったものの、児童の学校生活に配慮の行き届いた施設という印象であった。



下高瀬小学校

建設経済常任委員会

建設経済常任委員会では、2月22日に、鳥坂企業用地造成工事と市道「六の坪5号線」道路整備工事の現地調査を行った。

執行部からは、工事概要及び進捗状況等について説明があり、工期内竣工を目指して現在工事を行っているとのことであった。

両工事とも本市において、企業誘致による経済基盤整備に大きく関係することから、確実な工期内竣工を要望した。



鳥坂企業用地



市道六の坪5号線

まちづくり調査特別委員会

まちづくり調査特別委員会では、2月22日に、香川用水調整池造成地跡地利用について、現地調査を実施した。



香川用水調整池工事現場

貯水容量（約305万立方メートル）を確保するために、貯水池内の掘削が必要であり、その建設発生土により7・5ヘクタールの南造成地が出来つつあった。

そこには、サッカー場やソフボールのグラウンドがとれる多目的広場とトイレ・駐車場等が、平成20年度に水源機構により整備される。

他にも、堤体の下には、親水公園も整備される予定である。